

さくら町会のみなさんへ

平成30年6月1日
会長(区長) 荒木 實
副会長(町会長) 中嶋 雄治

平成30年度七窪区上期防災訓練について

さくら町会の皆さまには、日頃から防災活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。七窪区上期防災訓練を下記の通り開催しますので、多数の皆さんのご参加をお願いします。なお、今年度の訓練では「避難(誘導)・安否確認訓練」を昨年引き続き実施します。2月の防災訓練での皆様のご意見を反映して、昨年から一部変更して実施します。

記

1. 日 時 平成30年6月17日(日) 午前7時30分～午前10時00分(予定)
2. 訓練内容 **大雨・大風**のため、かほく市役所から「避難準備・高齢者等避難開始」が発令されたとの想定で**参加者全員が近所に声掛け(安否確認)しながら避難し、班長に避難状況を報告**してください。

【「避難(誘導)・安否確認訓練」手順】

1. 7時30分(緊急放送予定)になったら、「自分の身の安全を確保、電気・ガス等火の元の点検」を行い、**玄関ステッカーを表示する**
(不参加の家庭は**事前に玄関ステッカーを表示**しておいてください)
昨年のステッカーや在宅者無事を意味する**白いタオル**での表示でも可
2. 参加の皆さんは自宅の**向こう三軒両隣に声をかけあって**(不参加の家は添付の**玄関表示ステッカーの記載を確認**)一緒に避難集合場所へ避難
避難集合場所 1～5班 → **ゲートボール場**
避難集合場所 6～8班 → **長田宅前**
3. **班長に避難状況を報告**して下さい(班長は各班集計用紙で集計)
4. 集計した際に安否不明の世帯がある場合は、自宅付近へ戻って頂き隣家等の再確認をお願いする場合がありますのでご協力ください
5. 町会長又は副町会長の指示で、一時避難場所の七窪公民館へ移動
※ **避難行動支援者の方は担当の避難行動要支援者の安否確認をし報告**
※ 注意事項:避難時は、徒歩または車いすでお願いします
訓練への、犬等のペットをつれての参加はご遠慮下さい

3. 訓練詳細

時 間	訓 練 内 容
7:30～8:30	『避難(誘導)・安否確認訓練』 開会挨拶 荒木自主防災会会長
避難後 講演開始まで	『防災DVDの放映とパネル展示』 ・みんなで守る! 私たちのまち(石川県危機管理官室DVD23分) ・相馬市の東日本大震災時の対応に学ぶ(パネル展示)
8:30～10:00 同時刻並行 して実施	『金沢地方気象台防災管理官による講演』 「防災気象情報のその活用」(災害につよい街づくりフォーラム2017) 『石川県立看護大学 災害ボランティアサークルふたばによる教育』 子供向け防災教育
10:00～	アンケート用紙記入後解散

※添付資料: 玄関貼付用ステッカー

以上



◇在宅者が無事な時は、このステッカーを玄関に表示してください

在宅者無事です

避難済み人数
名

居住人数
名



さくら町会



↑ ↓ 災害時(訓練含む)状況に合わせて上下「どちらかの紙」に「人数を記入」し玄関に表示 ↑ ↓



◇避難行動要支援者等助けが必要な場合は、このステッカーを玄関に表示してください

助けが必要です

避難済み人数
名

居住人数
名



さくら町会

わかば町会のみなさまへ



平成30年 6月 1日
七窪区自主防災会
会長(区長) 荒木 實
わかば町会長 丸岡 道夫

平成30年度上期防災訓練のご案内

七窪区自主防災会主催の防災訓練（避難訓練）を下記要領にて実施いたします。

今年の防災訓練は、昨年の避難（誘導）・安否確認訓練と同様に実施いたします。実際に災害が起こった時にどのように行動するかを、訓練を通じて確認していただきたいと思っておりますので、多数のご参加ご協力いただきますようお願いいたします。

記

1. 日 時 平成30年6月17日（日）午前7時30分～午前10時00分（予定）
2. 訓練場所 自宅⇒ 集合場所（二の橋）⇒ 緊急避難場所（七窪公民館）
3. 訓練内容 かほく市で大規模な地震が発生し、自宅が全壊または半壊したとの想定で、わかば町会全員の安否確認を自分達で行い、安全に緊急避難場所の七窪公民館へ避難する訓練です。

その後、七窪体育館にて防災知識向上訓練、七窪公民館にて石川県立看護大学による子ども会との防災教育訓練を行います。

（平成30年度 わかば町会版『白いタオルを使った安否確認』とは…
もご確認ください）

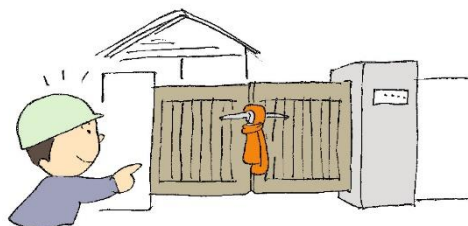
※※※今回の安否確認・避難移動訓練の確認項目※※※

1. 『白いタオルを使った安否確認』

同居家族全員の無事が確認出来たら、玄関先等に道路から見えるように白いタオル（白いバスタオルや白いシーツでも良い）を掲げ、周囲の人に無事を知らせる。

集合場所へ行く場合でも、家族全員の無事が確認できた場合は白いタオルを掲げてから移動してください。

なお、役員等が白いタオルの確認に回りますので、午前9時以降に白いタオルは片付けてください。



※なお、訓練当日に他の用事のため、仕方なく訓練に参加できない世帯で、災害時の安否確認と避難方法を理解いただいた世帯については、白いタオルを玄関先等に掲げてください。

裏面に続く

災害時の安否確認と避難移動方法(わかば町会)

①地震(災害)発生

屋外での行動は必ず複数人で!!

②安全確認・避難準備



身の回りの安全確認
ブレーカー遮断、ガス元栓閉め
家族の安否確認(同居家族全員の無事が確認できたら、白いタオルを玄関先等へ掲げる)
非常食、貴重品

③隣近所の安否確認

声掛けと安否・被害状況確認
避難移動の有無確認

④集合場所(二の橋)へ移動



町会長は副町会長又は班長等に自身が把握した状況等を伝え、避難場所へ移動

⑤町会全体の避難・被害状況把握

班長等 班員名簿を基に班員の安否・避難・被害状況を集計
集計結果を副町会長へ報告
副町会長 各班の集計結果を町会全体として集約(防災委員)

⑥避難場所移動グループと安否確認・救出・救護グループ

副町会長 各班の集計結果から、上記のグループ分けを決定及び班長等

⑦避難場所移動グループ

避難場所移動グループ 避難場所移動グループ(少人数)で避難場所へ移動
(防災委員) 町会全体の集計結果をもって、避難場所へ移動

⑧安否確認・救出・救護グループ

副町会長 不明あるいは援護を要する家を訪問する担当者の決定(防災委員が来たとき、現状を報告)
救出・救護グループ 安否不明、要援護の家へ行き、必要な支援の実施を行い、確認、支援などの対応結果を副町会長へ随時報告

緊急避難場所



すべての確認や支援の終了後、避難場所へ移動

⑨安否確認状況の集約結果の報告

防災委員 安否確認状況の集約結果を町会長へ報告
報告後、その後の状況確認が必要であれば二の橋へ移動し、副町会長より情報入手し、避難場所に戻る
町会長 防災委員等からの報告内容を確認し、本部長(区長)へ報告

必要の都度
繰返し

報告内容 安否確認がとれた人数、安否不明の人数、避難している人数、自宅にいる人数、活動中の安否確認・救出・救護グループの人数、けがをしている人数、救助が必要な人数 等 必要な情報

平成30年度 わかば町会版 『白いタオルを使った安否確認』 とは…

災害発生時に、居住を共にする家族全員が無事で、身動きが取れる事の確認ができた場合に、道路から良く見える玄関先や門扉などに白いタオルを掲げて、近所の人に無事を知らせることで。

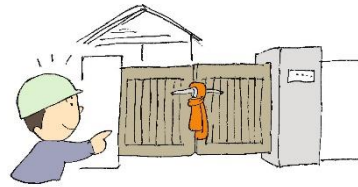
居住を共にする家族とは…

一つの家に一緒に住んでいる家族のこと。二世帯住宅で生活している家族は安否確認対象です。県外など遠くで生活している家族は安否確認対象外になります。

仕事・学校・施設等に出かけている場合は、その場所が被災地に入っていると思う場合は安否確認対象です。被災地に入っていないと思う場合は安否確認対象外になります。

無事で身動きが取れる事とは…

怪我がなく自由に動ける状況のこと。怪我があっても軽傷で、1人で動ける状況であれば無事で身動きが取れる事になります。



こんな時は…？！

どうするげんてえ 1 私（45才・世帯主）、妻（43才）、長男（13才）の三人家族。全員が家に居る時にかほく市で地震が起こった。幸い全員けがもなく無事だった。どうするげんてえ。

そうやねえ 1 無事を知らせる白いタオルを掲げてください。そして周辺の人たちの安否確認と助けが必要な人への力になってください。

どうするげんてえ 2 私（45才・世帯主）、妻（43才）、長男（13才）の三人家族。全員が家に居る時にかほく市で地震が起こった。妻がタンスの下敷きになってけがをしている。

そうやねえ 2 無事を知らせる白いタオルは掲げずに、すぐに周りの人に助けをお願いしてください。

どうするげんてえ 3 私（45才・世帯主）、妻（43才）、長男（13才）の三人家族。私と妻は家に居るが、長男は宇ノ気中学校の部活動に行っている時にかほく市で地震が起こった。長男とは連絡が取れず無事かどうかわからない。

そうやねえ 3 無事を知らせる白いタオルは掲げないでください。長男の無事が確認できた時点で白いタオルを掲げてください。

どうするげんてえ 4 私（45才・世帯主）、妻（43才）、長男（13才）の三人家族。私と長男は家に居るが、妻は友達と大阪に旅行に行っている時にかほく市で地震が起きた。

そうやねえ 4 明らかに妻は被災していない（大阪に行っているから）と思う場合は、妻も無事だということで、無事を知らせる白いタオルを掲げてください。ただし、もしかして被災しているかもしれないと思う場合は、妻の無事が確認できるまで白いタオルは掲げないでください。

どうするげんてえ 5 私（65才・世帯主）、妻（60才）の二人家族。最近まで息子夫婦と同居していたが、息子が近所に家を建ててそこに息子夫婦は住んでいる。私と妻が家に居る時にかほく市で地震が起きた。幸い私も妻もけがもなく無事だったが、息子夫婦と連絡が取れず無事が確認できない。

そうやねえ 5 無事を知らせる白いタオルを掲げてください。息子夫婦は別の場所に住んでいるので同居にはなりません。わかば町会版『白いタオルを使った安否確認』は、同居する家族全員の無事が確認できた場合に白いタオルを掲げることになります。息子夫婦は住んでいる場所のルールで安否確認等を行うことになると思います。ただ、息子夫婦も大事な家族ですので速やかに無事が確認できると安心ですよ。

最後に・・・

これはあくまでも一例です。どっちなんだろうと悩んだ場合は、白いタオルは掲げないでください。白いタオルを掲げると周りの人は「あそこの家は全員無事だったんだ。」と思ってしまい、助けが必要なのに見過ごされるかもしれません。

災害時に一番大事なことは、自分の命を守る事です。自分の命を守るために助けが必要であれば、周りに助けをお願いしてください。そして自分の命が守れたのであれば、周りの命を助けてあげてください。

たくさんの命を守るために、白いタオルを有効活用できればと思います。



平成30年6月1日

あすなろ町会のみなさまへ

七窪自主防災会長（区長） 荒木 實
あすなろ町会長 木村 久司

平成30年度防災訓練について（全世帯参加）

町会のみなさまには、日頃より防災活動にご理解、ご協力賜り、ありがとうございます。さて、本年度も、町会毎に、より実際の災害を想定した「避難訓練」および、全世帯の安否を確認する「安否確認訓練」を、実施いたします。災害はいつやってくるかわかりません。是非、日頃からの訓練として、ご参加をお願いいたします。

なお、当日、避難訓練に参加されない方も含め、安否確認訓練においては、全ての世帯の安否確認を実施いたしますので、全世帯のご参加、ご協力をお願い申し上げます。

記

1. 日時 平成30年6月17日（日）午前7時半～

2. 訓練内容

(1) 災害想定：震度7の地震発生により家屋倒壊

(2) 安否確認訓練（全世帯対象）

① 7：30頃 防災無線より訓練開始放送となります。

② 家族全員の無事が確認ができたなら、玄関先（ドアノブ、郵便受けなど）に、白いタオルを掲げ、無事を知らせてください。（全世帯で実施願います）

③ 関係者で、タオルの確認を行います。午前中は掲げたままにしておいてください。

④ 白いタオルが出ていない家庭は、関係者が訪問し、安否の確認を行います。日曜の朝早い時間帯ですが、ご理解戴きますようお願いいたします。

(3) 避難（誘導）訓練

① 班毎に定めた下記の集合場所へ集合してください。（裏面参照）

A班：明和寮横空地、B班：杉村さん宅横空地、C班：松原美容室前空地

D班、E班：旧公民館前駐車場

② 集合場所で班長等が安否確認を行ったうえ、緊急避難場所（七窪体育館）へ移動します。

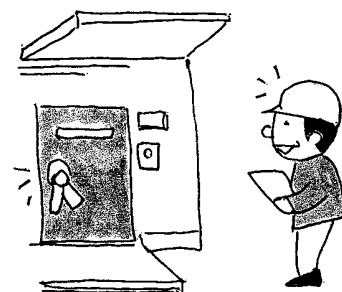
(3) 訓練イベント（七窪区全体）（～10時予定）

体育館にて、体験訓練を実施します。

① 講演会：「防災気象情報とその活用」（金沢地方気象台防災管理官）

② 子供向け防災教育（看護大 災害ボランティアサークル ふたば）

③ 防災DVD放映とパネル展示



以上

太陽台町会 平成30年度上期防災訓練要旨

訓練日時：平成30年6月17日(日) 午前7時30分(雨天決行)

災害想定：震度7の地震(休日夜間)

今年もまた、町会毎に災害の種類を設定した防災訓練を実施します。

今年は、初の取り組みとして“白い布きれ(白タオル)”を玄関先に掲げてください。

これは家族全員が無事であることを表すものであり、避難訓練への欠席・参加に関係なく全ての家庭で実施して頂くようお願いいたします。

安否確認訓練は、不参加家庭のお宅も一軒ごと訪問し聞き取り調査を行います。白タオルを掲げてあるお宅は全員無事ということでパスできますので協力よろしくをお願いします。

安否確認後は、各々の一時集合場所から市営駐車場へ集合し、全体で緊急避難場所へ移動します。

当日、不在の方はあらかじめ班長さんへ連絡をお願いします。

近隣住民の安否確認

1. 防災警報発動(かほく市防災無線の確認)
2. 自宅の点検、安全処置；仮想にてブレーカー、ガス・火元の断
3. **白タオルを掲げる**
4. 一時集合場所へ避難(※下記参照)
5. 避難世帯の点呼(班長)；参加者人数、在宅者人数、不在者人数、被災状況
6. 不参加の家庭を訪問し安否確認；在宅者人数、不在者人数、被災者人数及び状況確認(班長は、前年の班長さんに協力要請をする)
7. 安否確認完了後、二次集合場所へ移動(市営住宅駐車場)
8. 班長は安否情報を集計し、町会長へ報告する
9. 緊急避難場所へ避難(七窪公園集合、全班が揃い体育館へ移動)
10. 七窪公園へ到着後、町会長は本部へ報告する。

一時集合場所	1班	： 山崎さん宅前
	2班	： 市営駐車場
	3班・4班	： 桜井さん宅前
	5班・6班	： 三浦さん宅裏



他にも、金沢地方気象台防災管理官の方へ講演をお願いしています。気象用語の意味や気象情報の重要性を学び、防災力を高めましょう。

また、看護大の学生さんによる子供さん向けの防災訓練も予定しています。是非、お子さん連れで参加ください。

災害発生後の行動

1、各自	自宅での安全確保	・ 電気のブレーカー断、ガス・火の元確認
		・ かほく市防災無線の確認
		・ 白タオルを玄関先へ掲げる
2、各自	一時集合場所へ集合	・ 1 班、 山崎さん宅前
		・ 2 班、 市営駐車場
		・ 3 班、 4 班、 桜井さん宅前
		・ 5 班、 6 班、 三浦さん宅裏
3、班長	集合者のチェック（世帯人数、参加人数、在宅者人数、負傷者有無の聞取り）	
4、班長	前年度班長へ自宅待機世帯への安否確認の指示（欠席の場合は前前年度班長）	
6、新旧年度班長	不参加の世帯へ安否確認に行く（白タオルの掲揚のない世帯に限り確認）	
7、班長	要支援者があるならば、支援者数名を指名し、要支援者の救護活動を指示する	
8、班長	市営駐車場への移動指示を出す	
9、班長	市営駐車場へ到着後、避難者数、要支援者数を町会長へ報告する	
5、副町会長	各班の一時避難状況を確認後、本部へ移動	
10、町会長	各班の状況が確認でき次第、公民館へ移動の指示を出す	
11、町会長	避難所へ到着後、上記報告内容を本部長へ報告する	

※ 世帯全員が無事を意味する ” 白いタオル か 白い布を掲げる ”

(訓練へ参加される家庭も掲げてください)

ひまわり町会のみなさまへ

平成30年度 七窪区上期防災訓練の開催について

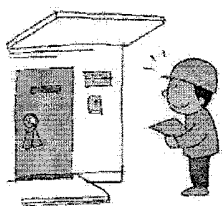
ひまわり町会の皆さまには、日頃から防災活動にご理解とご協力をいただきありがとうございます。

いざという時にお互いに協力し合えるようにするには、日頃から隣近所のつながり作りと定期的な訓練が欠かせません。訓練によって、各自が何をすればよいのかを把握していれば、避難活動の効率が格段に向上します。

上期防災訓練を下記のとおり開催しますので、多数の皆さまのご参加をお願いいたします。

記

1. 日 時 平成30年6月17日（日）
午前7時30分～10時00分（予定）
2. 訓練場所 避難集合場所、七窪区公民館、七窪区体育館
3. 対象者 七窪区民（ひまわり町会）
4. 訓練日程 （訓練の進捗状況により、訓練時間が変更になることがあります。）
 - ・7:30～8:30 ※ 避難（誘導）・安否確認訓練
（7:30頃 防災行政無線により、防災訓練開始の放送を行います。）
 - ・8:30～10:00 ※ 防災知識向上訓練
「防災気象情報とその利用」
金沢地方気象台 防災管理官 河野元治さん
※ 看護大学災害ボランティアサークルふたばと子供会との防災教育訓練



新たな取り組みとして、災害発生時に安否確認を迅速に行うため、**家族全員の安否が確認できた場合は、玄関先等に「白いタオル（白い布きれ）等」の掲示を行って下さい。**集合場所・避難所等において安否が確認できない場合、防災委員等が訪問し安否の確認を行います。
※今回、ご都合により、防災訓練に参加できない場合は、玄関先等に「白いタオル（白い布きれ）等」の掲示を行って下さい。

裏面もご覧ください

避難（誘導）・安否確認訓練の流れ

家族の安全確認を行い、「避難安否確認カード」を記入します。

家族全員の無事が確認ができたなら、玄関先（ドアノブ等）に白いタオル（白い布きれ）等を掲げ、周囲の人に無事を知らせてください。（**全世界帯で実施願います。**）

安否確認グループは、相互に声掛けを行い安否確認を行います。

安否確認グループ毎に、避難集合場所に集合します。

安否確認グループ毎に、「避難安否確認カード」を取りまとめ「班長」に安否確認状況を報告します。

班長・避難誘導班は、安否確認後、避難経路の安全を確認し、住民を緊急避難場所（七窪区公民館）へ避難誘導を行います。

【避難行動要支援者の支援】

1. 避難支援者は、避難行動要支援者の安否確認を行い避難集合場所へ避難誘導を行います。
2. 避難支援者は、避難行動要支援者の「避難安否確認カード」を取りまとめ「班長」に安否確認状況を報告します。

『補足説明』

- ◆ 今回、新たな取り組みとして「白いタオル（白い布きれ）等」による安否確認を行います。白いタオル（白い布きれ）等が出ていない家庭は、防災委員等が訪問し安否の確認を行います。
- ◆ 避難集合場所は、（A・B班⇒福村さん資材置場 C・D班⇒アイリス公園）
- ◆ 向こう三軒両隣の単位に小グループ「安否確認グループ」を構成します。
- ◆ 訓練での、避難行動要支援者の避難誘導は安全を考慮し、原則、安否確認のみを行います。

防災気象情報から学べること

近年、集中豪雨や台風等による被害が相次いで発生しています。そして、雨の降り方が局地化、集中化、激甚化していると言われています。こうした気象状況の変化に対応するため、気象庁から発表される防災気象情報について学びます。

気象庁は、防災気象情報を自治体や防災機関に直ちに伝達すると同時に、テレビやラジオ、インターネット等を通じて発表しています。携帯電話やスマートフォン、パソコン等を用いて一人ひとりが必要な防災気象情報を手軽に入手できます。

防災気象情報は、災害から身を守るための情報であり重要な位置づけとなります。とくに、「災害が起こるおそれのあるとき」に発表される「注意報」、「重大な災害が起こるおそれのあるとき」に発表される「警報」は、報道機関を通じて地域住民に伝えられます。

名前	電話番号 (携帯)	電話番号 (会社・学校)	住所	生年月日	血液型	その他 (持病・常備薬等)
	TEL ----- mail	TEL				
	TEL ----- mail	TEL				
	TEL ----- mail	TEL				
	TEL ----- mail	TEL				
	TEL ----- mail	TEL				

家族のかかりつけの医院などを記入しましょう。

名称	所在地	電話番号

クスリの処方箋などを記入しましょう。

家族の名前	病名	クスリ名

(キリトリ線)

☆ 避難安否確認カード ☆

班名	A班・B班・C班・D班
安否確認グループナンバー	1・2・3・4・5・6
世帯名	
家族構成数	人(人)
避難済数	人(人)
自宅待機数	人(人)
安否確認状況	<input type="checkbox"/> 白いタオル(白い布)の掲示 <input type="checkbox"/> 全員無事 <input type="checkbox"/> けが人 人 <input type="checkbox"/> 救助が必要ですか? <input type="checkbox"/> 未確認 人
記事	《避難集合場所》 A・B班⇒福村さん資材置場 C・D班⇒アイリス公園

【避難安否確認カードの記入】

- 「安否確認グループナンバー」は、班毎の安否確認グループ分け表を参照して下さい。
- 家族構成数、避難済数、自宅待機数のカッコ内は、避難者要支援者の人数を記入して下さい。
- けが人の傷病状況を記事欄に記入して下さい。
- 家族の安否(連絡)が確認できない場合に、未確認の人数を記入して下さい。

家族の安全確認を行い、「避難安否確認カード」を記入します。

家族全員の無事が確認ができたなら、玄関先(ドアノブ等)に白いタオル(白い布きれ)等を掲げ、周囲の人に無事を知らせてください。(全世帯で実施願います。)

安否確認グループは、相互に声掛けを行い安否確認を行います。

安否確認グループ毎に、避難集合場所に集合します。

安否確認グループ毎に、「避難安否確認カード」を取りまとめ「班長」に安否確認状況を報告します。

班長・避難誘導班は、安否確認後、避難経路の安全を確認し、住民を緊急避難場所(七窪区公民館)へ避難誘導を行います。